

# 平成 19 年度佐倉市当初予算(案)の概要

## 1 . 財政の現状

- ・ 税制改正等により市税収入は増加となるが・・・  
国からの交付金等の減により一般財源収入全体としては横ばい
- ・ 扶助費、国民健康保険・介護保険への繰出等が増加
- ・ 今後、歳出増につながる構造的な要因  
少子高齢社会対策、生活安全対策、都市基盤の整備、市内各施設の改修等

## 2 . 基本方針

持続可能な佐倉市財政の確立を前提に、  
後期基本計画の着実な実現をめざす

- ・ 前年度に引き続き 3 つの主要施策を推進  
次の時代を見据えた子育て支援と教育内容の充実  
高齢社会に対応した健康づくりの推進  
生活環境の効率的な整備（下水道事業の見直し）
- ・ 骨格的な予算として編成  
新規事業や事業拡大部分は、市長選挙(4月)以降の政策判断に委ねる
- ・ 将来債務残高の減少に配慮  
市債発行総額を公債費の元金償還金の額を超えない範囲とする方針

## 3 . 予算規模

一般会計 349 億 5,200 万円

- ・ 前年度比 1.6%、5 億 7,300 万円減

特別会計 335 億 4,521 万 7,000 円

- ・ 国民健康保険特別会計 146 億 5,942 万 3,000 円 ( 3.5%)
- ・ 交通災害共済事業特別会計 686 万円 ( 47.2%)
- ・ 公共用地取得事業特別会計 2 億 3,868 万 6,000 円 ( 1.5%)
- ・ 下水道事業特別会計 23 億 9,794 万 8,000 円 ( 1.9%)
- ・ 老人保健特別会計 95 億 7,271 万 1,000 円 ( 5.9%)
- ・ 農業集落排水事業特別会計 2,226 万 8,000 円 ( 69.6%)
- ・ 介護保険特別会計 66 億 4,128 万 6,000 円 ( 8.8%)
- ・ 災害共済事業特別会計 603 万 5,000 円 ( 36.5%)

\* ( ) は前年度比増減

総計 684 億 9,721 万 7,000 円

#### 4 . 一般会計歳入

##### 税制改正等により市税収入が増加

- ・市税全体 249 億 1,091 万円 (8.2% 18 億 8,424 万円増)
- ・市民税(個人) 税源移譲、定率減税の廃止等で約 13 億 6,000 万円増
- ・市民税(法人) 企業業績の回復等で約 1 億 8,000 万円増
- ・固定資産税 家屋新增築等で約 2 億 6,000 万円増

##### 地方交付税 1 億 7,000 万円 (増減 0)

- ・平成 18 年度に続き、普通交付税は不交付の見込み

\* 増減金額は前年度比

#### 5 . 国の改革の影響

##### 三位一体改革 (所得税から住民税への税源移譲)

- ・所得譲与税の廃止 9 億 5,000 万円

##### 定率減税の廃止

- ・地方特例交付金 6 億円
- ・減税補てん債廃止 2 億 5,000 万円

##### 地方交付税の見直し

- ・臨時財政対策債 1 億 4,000 万円

\* 金額は前年度比増減

#### 6 . 一般会計歳出

##### 民生費 104 億 7,544 万 7,000 円 (6.7%)

- ・介護保険特別会計・国民健康保険特別会計への繰出金、児童手当支給経費、障害者自立支援福祉費等の増

##### 総務費 55 億 7,876 万 6,000 円 (0.9%)

- ・市長及び市議会議員選挙、県議会議員選挙等による増

##### 教育費 45 億 955 万 2,000 円 ( 2.5%)

- ・弥富公民館整備事業費等
- ・骨格的予算編成、所管事務の移動による減等

##### 衛生費 35 億 4,953 万 7,000 円 ( 7.1%)

- ・清掃組合負担金、葬祭組合負担金の減等

##### 土木費 28 億 897 万円 ( 22.2%)

- ・骨格的予算編成による減等

\* ( ) は前年度比増減